

第126号

# お茶の水女子大学学报

昭和64年1月1日  
お茶の水女子大学庶務課

## 目次

関係法令..... 1

学内規則..... 2  
お茶の水女子大学家政学部における  
動物実験に関する要項..... 2

人 事..... 3

学 事..... 5  
昭和64年度お茶の水女子大学学生募集要項..... 5

昭和64年度お茶の水女子大学大学院理学研究科  
修士課程学生第2次募集要項..... 11

昭和64年度お茶の水女子大学大学院理学研究科  
(修士課程)各専攻課程の研究概要..... 12

諸 報..... 14  
学位記授与式について..... 14

永年勤続者表彰について..... 14

奨学金授与式について..... 14

昭和63年度科学研究費補助金交付決定  
(第二次)について..... 15

海外渡航..... 15

研修..... 15

昭和63年度健康診断..... 16

レクリエーション行事..... 16

新任者住所..... 16

職員の住所変更..... 16

日 誌..... 17

## 関係法令

### 【法 律】

- 学校教育法の一部を改正する法律（法律第88号、11月15日官報）
- 行政機関の休日に関する法律（法律第91号、12月13日官報）
- 一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律（法律第92号、12月13日官報）

### 【政 令】

- 行政機関の休日に関する法律の施行期日を定める政令（政令第338号、12月15日官報）
- 一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律の施行期日を定める政令（政令第339号、12月15日官報）

### 【規 則】

- 一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律（昭和63年法律第92号）の施行に伴う関係人事院規則の整理に関する人事院規則（人事院規則1-15、12月15日官報）
- 人事院規則9-40（期末手当及び勤勉手当）の一部を改正する人事院規則（人事院規則9-40-6、12月15日官報）

○人事院規則15-1（職員の勤務時間等の基準）の一部を改正する人事院規則（人事院規則15-1-1、12月15日官報）

○人事院規則15-12（非常勤職員の勤務時間及び休暇）の一部を改正する人事院規則（人事院規則15-12-3、12月15日官報）

【告 示】

○在外教育施設として指定する件（文部省告示第119号、11月10日官報）

学 内 規 則

○お茶の水女子大学規則第12号

お茶の水女子大学家政学部における動物実験に関する要項を次のとおり定める。

昭和63年11月30日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学家政学部における動物実験に関する要項

（目的）

第1 この要項は、お茶の水女子大学家政学部（以下「本学部」という。）における動物実験に関する必要事項を定め、もって、適正な動物実験の実施を確保することを目的とする。

（家政学部長の責務）

第2 家政学部長は、研究上必要な動物実験を適正かつ円滑に実施するために必要な動物実験の場及び飼育設備を整備するとともに、その管理運営に必要な組織体制の整備を図ることに努めるものとする。

（委員会の設置等）

第3 本学部に、動物実験委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、家政学部長の諮問に応じて次の事項を審議する。

- (1) 動物実験の科学的な実施及び実験動物の福祉に関する事項
- (2) 動物実験の場及び飼育設備の整備に関する事項
- (3) 管理運営に必要な組織体制の整備に関する事項
- (4) 動物実験等の安全確保に関する事項
- (5) その他動物実験に関する重要事項

（委員会の組織等）

第4 委員会は、次の委員で組織する。

- (1) 家政学部長
- (2) 動物実験実施教官1名
- (3) 各学科から選出された教官各1名
- (4) 生活環境研究センターから選出された教官1名

2 前項第2号から第4号の委員は、家政学部長が委嘱する。

3 第1項第2号から第4号に掲げる委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 第1項第2号から第4号の委員が欠員となった場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第5 委員会に委員長を置き、家政学部長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

（委員会の議事）

第6 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決をすることができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

3 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

（委員会の事務）

第7 委員会の事務は、家政学部事務部において処理する。

（実験実施者の責務）

第8 実験実施者は、動物実験の計画及び実施に当たっては、次の各号に掲げる事項に十分配慮するとともに、必要に応じて実験動物の専門家の意見または、委員会の助言等を求めなければならない。

- (1) 計画に当たっては、有効適切な実験が行えるよう熟慮するとともに実験動物を用いない方法等の検討も行うこと。
- (2) 供試動物の選択に当たっては、実験目的に適した動物種の選定、実験成績の精度や再現性が十分に得られる供試動物の数、遺伝学的及び微生物的な品質に留意し、必要に応じて、検疫も行うこと。
- (3) 飼育管理に当たっては、実験動物の生理、生態、習性等を理解するとともに、施設、設備等の適

切な維持・管理に配慮し、適切な給餌、給水、健康観察等の飼育管理を行うこと。

- (4) 実験操作に当たっては、適切な保定や麻酔等の手段によって動物に、無用な苦痛を与えないよう配慮すること。
- (5) 実験終了後の動物の処置に当たっては、苦痛を与えない方法により原則として実験実施者自らが行うこと。
- (6) 有害な物理的、化学的な材料あるいは病原体を取り扱うような、安全管理に特に注意を払う必要のある実験を行うに当たっては、実験実施者

のみならず、すべての人の安全を確保するとともに、すべての環境汚染に対しても十分に配慮すること。

- 2 実験実施者は、動物の飼育管理及び検疫等に関しては、飼育技術者に協力を求めることが出来る。(雑則)

第9 この要項に定めるもののほか、動物実験の実施に関し必要な事項は、委員会の議を経て家政学部長が定める。

附 則

この要項は、昭和63年12月1日から実施する。

## 人 事

### ○人事異動

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
63.11.16	山 本 政 人	講師(家政学部)	採用	
"	森 山 悦 子	国立遺伝学研究所助手	転任	大学院人間文化研究科助手
63.12.1	山 田 毅	文部事務官(学生課)	採用	
63.12.16	徳 井 淑 子	助教授(家政学部)	"	
"	田 邊 新 一	講師(家政学部)	"	
63.12.31	小 畑 美佐子	辞職承諾	辞職	理学部助手

### ○非常勤講師

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	本 務
63.10.31	鈴 木 義 之	併任解除		講師(家政学部)
63.11.1	桜 井 英 博	講師(理学部)	63.11.1~64.3.31	早稲田大学教授
"	宮 地 重 遠	"	"	東京大学教授
63.12.1	富 裕 京 一	講師(文教育学部)	63.12.1~64.3.31	神田外国語大学講師
"	塩 田 徹 治	講師(理学部)	"	立教大学教授
"	白 尾 恒 吉	"	"	青山学院大学教授
"	近 藤 武	"	"	東京大学教授
"	矢 原 一 郎	"	"	㈩東京都臨床医学総合研究所細胞生物学研究部長

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
63.12.1	大橋望彦	講師(理学部)	63.12.1~64.3.31	(助)東京都老人総合研究所
"	西郷薫	"	"	東京大学教授
"	馬淵一誠	"	"	東京大学助教授
"	沖谷昭紘	講師(家政学部)	"	日本獣医畜産大学教授
"	吉原健一郎	"	"	成城大学助教授
"	綾部園子	講師(附属中学校)	63.12.1~63.12.31	

## ○非常勤職員

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
63.11.1	脇山弘美	事務補佐員(学生課)	63.11.1~64.3.31	
"	狩集明子	事務補佐員(附属図書館)	"	
"	平井見和	教務補佐員(家政学部)	"	
"	ノリタ・サンセダ	"	"	
63.11.16	矢吹トク	昭和63年11月15限り任期満了退職		学生課
63.12.1	河合聡子	教務補佐員(家政学部)	63.12.1~64.3.31	
63.12.16	吉井るり子	事務補佐員(附属図書館)	63.12.16~64.3.31	
"	野村明代	教務補佐員(女性文化研究センター)	"	
63.12.31	斉藤智子	辞職承認		会計課

## ○学科主任

学部	学科等	職名	氏名
文教育学部	外国文学科 英文学・英語学	教授	酒本雅之

# 学 事

## ○昭和64年度お茶の水女子大学学生募集要項

### 1. 学部・学科別募集人員

文教育学部	哲学科	史学科	地理学科	国文学科	外国文学科			教育学科		舞踊教育学科		計
					中国文学 中国語学	英文学 英語学	仏文学 仏語学	教育学	心理学	舞 踊 教育学	音 楽 教育学	
	24	23	22	35	12	37	8	23	17	18	13	232
理学部	数学科		物理学科		化学科		生物学科		計			
	25		25		25		27		102			
家政学部	児童学科		食物学科		被服学科		家庭経営学科		計			
	40		37		36		33		146			

注1) 理学部の募集人員のうち、数学科(7名以内)、物理学科(5名以内)及び生物学科(7名以内)については、推薦入学の募集人員が含まれている。

注2) 家政学部の募集人員のうち、児童学科(5名以内)については、推薦入学の募集人員が含まれている。

### 2. 出願資格

下記のいずれかに該当する女子で、かつ、昭和64年度共通第1次学力試験の5教科を受験した者

- (1) 高等学校を卒業した者及び昭和64年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

及び昭和64年3月修了見込みの者

- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び昭和64年3月31日までにこれに該当する見込みの者

### 3. 出願手続

#### (1) 出願書類等

1	出 願 カ ー ド	本学所定のもの。「出願カード記入の注意」(P11)を参照しながら記入すること。「昭和64年度共通第1次学力試験成績請求票」(国関用)を所定欄に貼付すること。
2	入学志願者マーク・カード	「入学志願者マーク・カード記入上の注意」(P12)をよく読み、本学所定のマーク・カードに記入すること。
3	あ て 名 票	合格通知その他に使用するので、本学所定の用紙に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入すること。郵便切手は貼付しないでよい。
4	調 査 書	出身学校長が作成し厳封したもの。ただし、出願資格(3)に該当する者は、当該試験等の成績証明書を提出すること。
5	健康診断書	昭和62年3月以前の高等学校卒業生及び出願資格(3)に該当する者は「視力、色覚、聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書(様式は特に定めない。)を提出すること。ただし、昭和63年3月高等学校卒業生及び昭和64年3月高等学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。
6	検 定 料	郵便局振出しの12,000円の「普通郵便為替」として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。 注) 1. 第1段階選抜の不合格者に対しては、10,000円を返還する。 2. 上記の1に該当する者は、昭和64年3月31日までに申し出ること。 3. なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
7	検定料納付書 (原符・領収証書)	本学所定の「原符・領収証書」に必要な事項を記入し、志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し40円切手を貼付すること。
8	受 験 許 可 書	他大学在学者に限り学長・学部長・学生部長のいずれかが証明したものを提出すること(様式は特に定めない)。
9	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に260円切手を貼付し志願者の住所、氏名及び郵便番号を記入すること。

(注1) 推薦入学合格者

国公立大学(私立産業医科大学を含む。)の推薦入学に合格した者は、本学を受験しても入学許可は得られない。

※ 当該大学に「推薦入学辞退願」を提出し許可を得た場合を除く。

(注2) 前期日程試験合格者

前期日程試験に合格し、3月15日までに入学手続を行った者は、本学を受験していても合格者とならない。

(注3) 理学部の推薦入学の志願者で合格とならなかった者で理学部に出願する者の出願書類等は、1.2.6.7.9とする。

(注4) 家政学部の推薦入学の志願者で合格とならなかった者で家政学部に出願する者の出願書類等は1.2.6.7.9とする。

(注5) 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

(2) 出願方法

1. 出願書類を一括して、本学所定の封筒を用い書留速達で下記あてに郵送すること。

文教育学部志願者……………文教育学部事務部

理学部志願者……………理学部事務部

家政学部志願者……………家政学部事務部

封筒下欄の志願者欄に住所、氏名、第1志望学科及び専攻名等を明記すること。

なお、家政学部児童学科、被服学科及び家庭経営学科の志願者は、A・Bのいずれかを記入すること。

2. 文教育学部及び家政学部の入学志願者は、同

一学部内に限り第二志望まで認める。理学部は第二志望を認めない。学部間の併願は認めない。

(注) 本学では、全学部が連続方式の「B日程グループ」により、第2次学力検査を実施する。

本学に出願した場合は、連続方式の「B日程グループ」及び分離分割方式の「後期日程グループ」の他の大学・学部には出願することができない。

4. 出願期間

昭和64年1月30日(月)から2月8日(水)までの間に必着するよう郵送すること。

ただし、2月6日(月)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

5. 入学者の選抜方法

(1) 第1段階選抜

1. 選抜方法

各学部とも出願者多数の場合に限り第1段階選抜を行うことがある。

文教育学部	共通第1次学力試験の各教科の得点を合計したものを受験者成績とし、得点順に入学定員の約6倍を合格者とする。
理学部	原則として共通第1次学力試験の得点が総配点の6割以上であるものについて、共通第1次学力試験の外国語(200点)、数学(100点に換算)及び理科(100点)の成績にもとづいて行う。各学科とも、入学定員から推薦入学合格者を減じたものの約6倍を得点順に合格者とする。
家政学部	共通第1次学力試験の各教科の得点を合計したものを受験者成績とし、得点順に入学定員(推薦入学合格者数を除く。)の約6倍を合格者とする。

2. 第1段階選抜の実施の有無及び実施の結果については、次の①又は②により発表する。

①第1段階選抜実施の有無	2月13日(月)の午後、学内本部棟前掲示板に掲示するとともに、実施しない場合は、志願者全員に「受験票」と「受験者心得」を郵送する。
②第1段階選抜を実施した場合	2月17日(金)の午後、学内本部棟前掲示板に選抜の結果を発表する。合格者には「受験票」と「受験者心得」を、合格とならなかった者には「選抜結果通知書」及び「検定料返還金請求書」を郵送する。

(2) 第1段階選抜合格者に対して、第2次学力検査を課し、その結果と共通第1次学力試験成績、調査書並びに健康診断書を総合して合格者を判定する。

(3) 第2次学力検査

① 期 日 3月5日(日)[6日(月)は実技検査]

## ② 学力検査

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目		備 考
文教育学部		国語Ⅰ・Ⅱ、古典 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）		舞踊教育学科（舞踊教育学、音楽教育学）の志望者にはほかに実技検査を行う。
理学部	数学科	数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計* ○物理、○化学、○生物 ○印の科目のうち1科目を選択		
	物理学科	数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計* 物理		
	化学科	数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*、化学 ○物理、○生物 ○印の科目のうち1科目を選択		
	生物学科	数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*、生物 ○物理、○化学、○印の科目のうち1科目を選択		
☆ 家政学部	児童学科 被服学科 家庭経営 学 科	A	国語Ⅰ・Ⅱ、古典 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）	
	児童学科 食物学科 被服学科 家庭経営 学 科	B	数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計* 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）	

\* 数学については高等学校学習指導要領中、確率・統計の内容（35・36頁）のうち「(1)資料の整理」、「(4)確率分布」及び「(5)統計的な推測」を除く。

☆ 児童学科、被服学科及び家庭経営学科志望者は、A・Bいずれで受験してもよい。食物学科はBで受験のこと。

## ③ 実技検査

○ 舞踊教育学志望者（第一志望、第二志望とも）に次の2種の検査を行う。

① ダンス（全員に課する）………与えられた基礎運動及び創作

なお、希望者はこのほか各種舞踊を加えてもよい。

② スポーツ（次のうち、1科目を選択）

ア. 陸上競技（短距離走及び走幅跳）

イ. 器械運動（平均台運動及びマット運動）

ウ. 新体操（手具運動）

エ. バレーボール

オ. バスケットボール

カ. 硬式テニス又は軟式テニス

キ. 卓 球

ク. バドミントン

※本学所定の実技関係の調査用紙「そのⅠ実技検査の選択科目に関する調査」及び「そのⅡ舞踊と体育活動に関する調査」を本人が記入し出願書類と一緒に送ること。

○ 音楽教育学志望者（第一志望、第二志望とも）に次の検査を行う。

① ソルフェージュ

ア. 聴音：1～4声部

イ. 新曲視唱

② 声 楽

下記の(i), (ii), (iii)のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。

(i)イタリア古典歌曲（原語）1曲を自由選択

(ii)イタリア古典歌曲（原語）1曲〔(i)に同じ〕、及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択

(iii)イタリア古典歌曲（原語）1曲〔(i)に同じ〕、及びアリア（原語・原調）1曲を自由選択

なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜（複写譜も可）に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない。）

③ ピアノ

下記の (i), (ii), (iii) のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。

(i) J・S・バッハ作曲の鍵盤音楽 (3分以内) から、1曲を自由選択

(ii) J・S・バッハの作品1曲 [(i)に同

じ], 及びベートーヴェンのピアノソナタから、1つの楽章を自由選択 (ただし、緩徐楽章を除く。)

(iii) J・S・バッハの作品1曲 [(i)に同じ]、及びショパンの練習曲集 (作品10、作品25) から、2曲を自由選択

(4) 入学者選抜第1次・第2次配点比率

学部名	試験の区分	教科等					配点合計	備考
		国語	社会	数学	理科	外国語		
文教育学部	共通1次試験	100点	50点	100点	50点	100点	400点	舞踊教育学科舞踊教育学・音楽教育学は実技検査を課し、総合判定の資料とする。
	第2次試験	200	—	—	—	200	400	
	計	300	50	100	50	300	800	

学部名	合否判定は、原則として共通第1次学力試験の得点が総配点 (800点) の6割以上であるものについて、共通第1次学力試験の外国語 (200点)、数学 (100点に換算) および理科 (100点)、ならびに第2次試験【下表 (400点)】の成績にもとづいて行う。							
理学部	第2次試験							
	学科名	数学	数学	物理	化学	生物	計	備考
	数学科	100*	200	(100)	(100)	(100)	400	*数学の科目のうち、「微分・積分」を除く。( ) から1科目を選択
	物理学科	100*	100	200			400	
	化学科	100*		(100)	200	(100)	400	
生物学科	100*		(100)	(100)	200	400		

学部名	学科名	試験の区分	教科等					配点合計	備考
			国語	社会	数学	理科	外国語		
家政学部	A 児童被服 家庭経営	共通1次試験	100点	50点	100点	50点	100点	400点	
		第2次試験	200	—	—	—	200	400	
		計	300	50	100	50	300	800	
	B 児童食物被服 家庭経営	共通1次試験	100	50	100	50	100	400	
		第2次試験	—	—	200	—	200	400	
		計	100	50	300	50	300	800	



(5) 第2次学力検査日時割

日時		3月5日(日)		3月6日(月)
学部	学科等			
文 教 育 学 部	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 国 文 学 科 外 国 文 学 科 (中国文学・中国語学) (英文学・英語学) (仏文学・仏語学) 教 育 学 科 (教 育 学) (心 理 学)	国 語 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50	
	舞 踊 教 育 学 科 (舞 踊 教 育 学) (音 楽 教 育 学)			実技(第一志 望、第二志 望とも) 10:00~
理 学 部	数 学 科	数 学 10:00~11:10	数学・選択(物理、化学、生物) 13:10~16:10	
	物 理 学 科		物理・数学 13:10~16:10	
	化 学 科		化学・選択(物理、生物) 13:10~16:10	
	生 物 学 科		生物・選択(物理、化学) 13:10~16:10	
家 政 学 部	児 童 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	A 国 語 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50	
	児 童 学 科 食 物 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	B 数 学 10:00~11:10		

6. 検査場所 お茶の水女子大学（東京都文京区大塚  
2丁目1番1号）

7. 合格発表

3月23日（木）12時頃 学内本部棟前掲示板に発表する。

（注）電話等による可否の問い合わせには一切応

じない。

8. 入学手続等

合格者には、合格通知書及び入学の関係書類を第2次学力検査の受験票と引き替えに入学手続場所で交付する。（合格者の代理人でも差し支えない。）本年度は、入学の関係書類は一切郵送しない。

(1) 入学手続

手続期間	3月23日（木）13:00～17:00 24日（金）13:00～17:00 ただし、都合により上記日時に手続が行えなかった者は、3月25日（土）10時～12時、又は27日（月）10時～12時・13時～17時に手続を行うこと。 3月27日までに手続をしない者は、入学を辞退したものと取り扱う。
手続場所	本学一般教育2号館
留意事項	本学に入学手続を完了した後にこれを取り消して他の国公立大学（私立産業医科大学を含む。）に入学手続をすることはできない。

(2) 手続事項

提出書類	昭和64年度共通第1次学力試験受験票
入学料	180,000円
授業料	168,000円（前期分）（改定予定額） この額は、国立の学校における授業料その他の費用に関する省令の改正・公布により確定します。 （注1）前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。 （注2）入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。

9. 追加合格通知

欠員が生じた場合は、3月28日以降に電話で追加合格の通知を行うことがあるので、本学からの連絡が確実に受けられるようにしておくこと。

10. 問い合わせ先

お茶の水女子大学 入学主幹室 入試・一般教育係

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

電話 東京(03)943-3151（大代表）

問い合わせの場合は返信用封筒（切手貼付）を同封し、返信先を明記すること。

11. テレホンサービスについて

○出願状況のテレホンサービス

1. 実施期間等 昭和64年1月31日（火）

～2月9日（木）

前日の17時現在の状況を翌日提供します。

2. テレホンサービスの内容 各学科等の倍率

3. 電話番号 03(946)5109（通話料は有料です。）

※ 第1段階選抜結果（2月17日発表）及び追加合格を行う学科等についても上記と同様にテレホンサービスを行う予定です。

昭和64年度お茶の水女子大学大学院  
理学研究科修士課程学生第2次募集要項

1. 出願書類 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び昭和64年3月卒業見込みの者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国の大学を卒業した者
- (4) 本学の大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 選抜方法

- (1) 入学の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規定による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
数学	7名	2月1日(水) 9:20~10:50 11:00~12:30 13:30~15:30 16:30~	一般・基礎教育科目（微積分・代数と幾何・位相空間） 外国語①（英・独・仏・露のうちから2カ国語を選択） 専門科目（数学） 口述試験

- ① 英語以外の1カ国語について辞書の使用を認める。

4. 出願期間

昭和64年1月9日（月）から1月14日（土）まで。  
なお、郵送する場合は、必ず書留で「大学院理学研究科入学願書」と朱書すること。（1月14日消印有効）

5. 出願手続

(1) 願書受付

- ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部  
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
電話：東京（03）943-3151（大代表）
- イ 時間 平日は午前9時から午後3時まで  
土曜日は午前9時から11時30分まで

(2) 提出書類等

- ア 志願者名票、受験票及び履歴書（本学所定の用紙）
- イ 卒業（又は見込）証明書
- ウ 健康診断書（本学所定の用紙）
- エ 調査書（本学所定の用紙）
- オ 検定料 20,000円 現金又は郵便為替

カ 受験承諾書 在職者及び他の大学の大学院の大学院生は、所属長の承諾書を提出すること。  
（様式随意）

キ 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、60円切手を貼った定型郵便物用封筒を同封すること。

6. 合格者の発表

- (1) 2月8日（水）正午の予定。理学部1号館内掲示板に掲示するとともに、合格通知書を送付する。
- (2) 入学手続関係書類は、昭和64年3月中旬に送付する。

7. 修了の条件及び学費

- (1) 修業年限は2年以上とする。
- (2) 総計30単位以上修得すること。
- (3) 課程の修了には前2項のほか、学位論文を提出して最終試験に合格することを必要とする。
- (4) 入学金180,000円、授業料年額336,000円

8. その他

- (1) 出願後、書類の変更や検定料の払い戻しは行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、70円切手を貼った定型郵便物用封筒（23.5cm×12cm）を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒（切手貼付）を同封し、必ず返信先を明記すること。

9. 大学所在地案内

都営バス 大塚2丁目停留所前  
地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩 約5分  
地下鉄 有楽町線 護国寺駅(音羽口)から徒歩 約5分

昭和64年度お茶の水女子大学大学院  
理学研究科（修士課程）各専攻課程の研究概要

## 1. 数学専攻課程

志望区分	担当教官	主な研究分野
数A (解析学)	教授 澤島 侑子	関数解析
	教授 高村 幸男	関数解析
	助教授 渡辺ヒサ子	ポテンシャル論
	助教授 前田ミチエ	関数解析
	助教授 竹尾富貴子	関数解析
数B (代数学)	教授 小山 敏子	群論
	助教授 藤原 正彦	数論、代数群
	助教授 桂 利行	代数幾何学
数C (幾何学)	教授 小川 洋輔	微分幾何
	助教授 塚田 和美	微分幾何

## 2. 物理学専攻課程

志望区分	担当教官	主な研究分野
物 A	助教授 菅本 晶夫	素粒子論
物 B	教授 伊藤 敬	) 原子・分子の構造と衝突の理論
	助教授 佐藤 浩史	
物 C	教授 橋爪 夏樹	) 統計力学 不可逆過程の理論
	教授 柴田 文明	
物 D	助教授 太田 隆夫	) 物性理論、非平衡開放系の理論
	助教授 大島 裕子	
物 E	教授 田中 翠	磁性体の構造と相転移（メスバウア分光）
	教授 伊藤 厚子	ランダム磁性体の静的・動的構造（メスバウア分光・磁化測定）
	教授 池田 宏信	平衡・非平衡系の相転移（中性子散乱・磁化測定）
	教授 富永 靖徳	誘電体・生体物質の構造とダイナミクス（光散乱分光）

## 3. 化学専攻課程

志望区分	担当教官	主な研究分野
化学 (物理化学)	教授 大橋 裕二 助教授 今野美智子	X線解析による固相、結晶相の反応の変化 生体物質の結晶構造及び反応機構の研究
化学 (無機化学)	助教授 福田 豊	特殊な機能を持つ錯体の研究
化学 (有機化学)	教授 前田 候子 助教授 永野 肇	有機光化学反応の研究 天然物有機化学-主としてテルペン類の研究
化学 (生物化学)	教授 瀬野 信子 助教授 松本 勲武	複合糖質(特にプロテオグリカン)の生化学的研究 生体物質間(特にレクチンと糖)の特異的相互作用
化学 (分析化学)	教授 富田 功 助教授 藤枝 修子	分析化学的に興味のある化学反応特にイオン交換反応の研究 化学現象の計測に関する研究
化学 (構造化学)	教授 細矢 治夫	分子の電子構造、化学情報の研究

## 4. 生物学専攻課程

担当教官	主な研究分野
教授 太田 次郎	粘菌類の運動と形態形成に関する研究
教授 新関 滋也	高等植物の生殖生理
教授 能村 堆子	細胞運動機能
教授 清水 碩	植物の老化、クロロフィルの代謝
教授 遠山 益	光合成器官の形態形成、細胞培養法の開発
教授 石和 貞男	ショウジョウバエを主とした進化・集団遺伝学
助教授 山下 貴司	単子葉植物の発生と系統
助教授 馬場 昭次	繊毛運動の生理学
助教授 林 正男	高等動物の生化学・細胞生物学、フィブロネクチン、ビトロネクチン、癌の移転
助教授 渡辺 洋子	海綿動物を主とした発生及び系統
助教授 芦原 坦	培養細胞系を用いた植物の代謝制御機構の解析
助教授 根本 心一 (臨海実験所)	棘皮動物を主とした発生機構
教授 内嶋善兵衛 (環境科学)	気象・気候環境の変化と植物生産

諸 報

○学位記授与式について

学位記授与式(論文博士)が12月22日(木)学長室で挙行された。

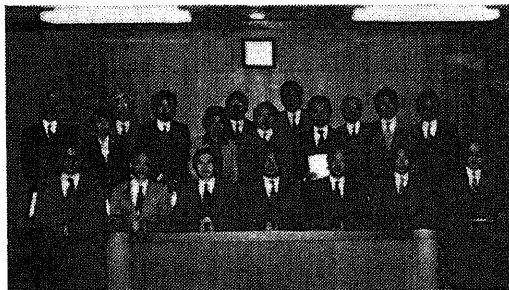
博乙第15号 韓 萬 榮  
論文題名 韓国仏教音楽研究

○永年勤続者表彰について

昭和63年度永年勤続者表彰式及び文部省永年勤続者表彰状伝達式が昭和63年11月22日本部棟第一会議室で行われ、被表彰者には、表彰状並びに記念品が授与されました。

被表彰者は次のとおりです。

学長表彰者	文教育学部	藤永 保
	"	小川 剛
	"	宮川幸久
	"	白藤禮幸
	"	柿澤秀春
	理 学 部	高村幸男
	"	清水 碩
	"	山下貴司
	"	福田 豊
	"	北川一隆
	家政学部	小林彰夫
	"	本間清一
	生活環境研究センター	倉田忠男
	附属高等学校	蒲生裕子
	附属学校部	堀江順子
文部大臣表彰者	附属図書館	浦田 要



○奨学金授与式について

昭和63年度奨学金授与式が11月30日(水)本部棟第1会議室で挙行された。

受賞者は次のとおりです。

○保井・黒田奨学金受賞者

颯田葉子(生物学科研究生)  
研究題目 ショウジョウバエの分子進化学的研究

○被服学奨学金受賞者

小山直子(聴講生・被服学専攻)  
研究題目 化粧試験

○食物学奨学金受賞者

長尾慶子(食物学科 教務補佐員)  
研究題目 加熱調理の基礎的研究

○ノーリタ・サンセダ(食物学科 教務補佐員)

研究題目 パティス香気の化学的研究

○家庭経営学奨学金受賞者

長津美代子(家庭経営学科 非常勤講師)  
研究題目 母親の職場進出と子供の社会  
化についての研究  
現代家庭における父性の研究

小澤千穂子(家政学部 事務補佐員)

研究題目 共働きが夫婦の情緒関係に与  
える影響  
在宅虚弱老人に対するデイケ  
アの役割

○人間文化研究科奨学金受賞者

野原恵子(国立公害研究所技官)  
研究題目 カエル組織新ガングリオシド  
の構造研究

○池田摩耶子記念奨学金受賞者

許 恵娟(人文科学研究科教育学専攻2年)  
研究題目 台湾における日本語教育の歴  
史と現状

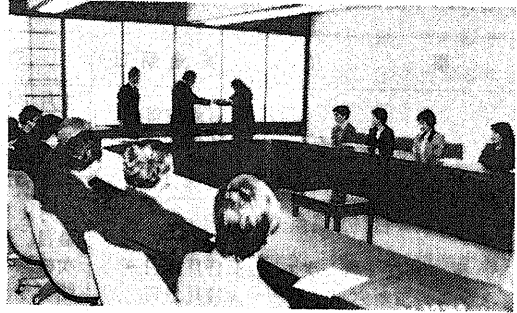
佐藤マサ子(人間文化研究科比較文化学専  
攻3年)

研究題目 カール・フローレンツ その  
生涯と日本研究

## ○昭和63年度科学研究費補助金交付決定

(第二次) について

種目	研究代表者 所属・職	氏名	配分額 (千円)	研究題目
一般 (C)	家政学部・ 助教授	畑江敬子	1,800	養殖魚のテクス チャーが天然魚 に劣る原因
〃	生活環境研究 センター・教授	大橋昌子	900	リボソーム膜反 射系に及ぼすシ ンゴンの影響



## ○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種別
文教育学部 助教授	寺崎弘昭	アメリカ合衆国	キーン・カレッジでの教育史に関する研究報告・打ち合せ・史料収集	63. 10. 13 63. 10. 21	研修
附属中学校 教諭	益地憲一	オランダ 西ドイツ フィンランド フランス共和国	昭和63年度存外教育施設巡回指導調査参加	63. 10. 13 63. 10. 23	出張
家政学部 教授	島田淳子	タイ	アセアン食品化学会議に出席及び講演のため	63. 10. 23 63. 10. 28	研修
附属小学校 教諭	古市憲一	ユーゴスラビア スイス・西ドイツ フランス共和国 アメリカ合衆国	昭和63年度国立大学・学部・附属学校等教官海外派遣団(A団)団員として海外教育事情視察と研修	63. 10. 17 63. 11. 9	出張
文教育学部 教授	浅井清	アメリカ合衆国	近代日本文学の研究・教育及び資料調査	63. 10. 2 63. 11. 16	研修
文教育学部 教授	徳丸吉彦	アメリカ合衆国 西ドイツ	国際研究集会(ベルリン比較音楽研究所主催)出席・資料収集	63. 11. 2 63. 11. 18	研修
文教育学部 教授	宮島番	フランス共和国	社会学の研究・資料収集・講演のため	63. 11. 7 63. 11. 30	研修
家政学部 助教授	袖井孝子	アメリカ合衆国	マウント・サイナイ医療センター及びニューヨーク州立大学主催シンポジウム参加報告及び資料収集	63. 11. 27 63. 12. 4	研修
文教育学部 講師	久保幸夫	アメリカ合衆国	地理情報システム会議出席のため	63. 11. 27 63. 12. 5	研修

## ○研修

名称	実施期日	対象者	修了者	主催
情報システム統一研修 第10回電子計算機入門コース	昭和63年 11月14日 ) 11月18日	情報システム利用部門のコンピュータ利用職員(原則として行(一)4級以下の職員)	会計課一般係員 橋本直英	総務庁
昭和63年度国立大学事務長研修	昭和63年 11月9日 ) 11月11日	国立大学の事務長で年令56歳以下の者のうち、各機関の長の推薦を受けて、文部省大臣官房人事課長が決定する者。 但し、昭和63年4月1日以降新たに就任した者	理学部事務長 細井隆一	文部省
昭和63年度厚生補導事務研修会	昭和63年 11月8日 ) 11月10日	国立大学の厚生補導関係職員で課長補佐の職にある年令50歳以下の者及び係長又は主任の職にある年令40歳以下の者	厚生課 厚生係長 近本政明	文部省

○昭和63年度健康診断

事項	実施期日	対象者	受診者数	実施場所
肝臓機能検査	昭和63年 11月10日～ 11月11日	4月1日現在満40歳以上の職員。ただし、人間ドック、特別定期健康診断受診者及び遠隔地勤務者を除く。	109人	保健管理センター
胃の検査（第一次）	昭和63年 11月10日～ 11月11日	4月1日現在満40歳以上の職員。ただし、昨年直接2次検診と判定された者、人間ドック受診者及び妊娠中の女子職員を除く。	69人	保健管理センター 前集団検診車
職員一般定期健康診断（第1回）	昭和63年 10月13日～ 10月14日	全職員。ただし、人間ドック受診者及び遠隔地勤務者を除く。	229人	保健管理センター
遠隔地勤務者健康診断	昭和63年 11月16日	志賀高原体育運動場、理学部附属臨海実験所及び館山野外教育施設勤務者	6人	長野県中野保健所 千葉県館山保健所
職員一般定期健康診断（第2回）	昭和63年 12月1日	全職員。ただし、前回と人間ドックの受診者及び遠隔地勤務者を除く。	29人	保健管理センター

○レクリエーション行事

行事名	実施日時	参加者数	作品・催しもの内容	実施場所
昭和63年度職員文化祭（第4回）	昭和63年 11月21日 ～ 11月25日	作品出展 27人 催しもの 15人	展示物 写真・盆栽・油絵等67点 お茶会（職員茶道班主催） カラオケ大会（職員BGM班・音楽ダンス班主催）	文教育学部 第一会議室 他

行事名	実施日時	参加者数	入賞者（チーム）等	実施場所
昭和63年度職員ボウリング大会	昭和63年 10月21日 18時～20時	51人	1位 菊池政樹・柴田正造（会計課）八重樫博（施設課） 2位 西村光範（会計課）薄葉 章（学生課）堀江順子（附属学校部） 3位 岡崎芳雄（会計課）富山 弘（学生課）菊地美千世（附属高等学校） 得点 1位524ピン・2位504ピン・3位479ピン （個人3ゲームのハイゲームトータル）	池袋プランズ ウィック・ スポーツ ガーデン
昭和63年度職員硬式テニス大会	昭和63年 11月21日 13時～ 15時30分	30人	優勝 高野佳征・菊地昌弘・西原敏雄・橋本直英（会計課）三浦良子・菊地美千世（附属高等学校） 2位 石川千一・竹部正二（施設課）早崎捷治（附属高等学校）堀江順子（附属学校部）富山 弘（学生課）横山典子（庶務課） 3位 富永靖徳・松本勲武（理学部）谷田貝麻美子・菅井清美（人間文化研究科）新井桂子（文教育学部）千葉久雄（庶務課）	高校 テニコート

○新任者住所

○職員の住所変更



## 日誌

(63. 10. 16~63. 12. 15)

- 10月16日(日) 附属中学校体育大会
- 18日(火) 部局長会議、情報処理センター運営委員会
- 19日(水) 各学部教授会、各研究科委員会、将来構想検討委員会
- 20日(木) 家政学研究科入試合格発表
- 21日(金) 職員ボウリング大会
- 22日(土) 公開講座
- 24日(月) 一般教育委員会、国立大学協会第1常置委員会
- 25日(火) 部局長会議、第26回全国大学保健管理研究集会(26日まで、於京都大学)
- 26日(水) 評議会、昭和63年度関東甲信越地区管理事務協議会(於千葉県)、体育祭、池田摩耶子記念奨学基金審査委員会
- 27日(木) 関東甲信越地区庶務部課長会議(28日まで、千葉県)、関東甲信越地区国立大学会計部課長会議(28日まで、箱根町) 昭和63年度第6回国立22大学理学部長会議(於 学士会館)、第16回国立大学保健管理センター所長会議(於 大阪教育大学)
- 28日(金) 第6回国立大学理学部長会議(於 学士会館)
- 29日(土) 昭和63年度女子大学連盟総会
- 31日(月) 昭和63年度文部省共済組合本部実施監査
- 11月1日(火) 中国幼児師範教育代表団本学附属幼稚園訪問
- 3日(木) 職員マス釣大会(於芦が久保)
- 4日(金) 学祭防火管理委員会
- 5日(土) 德音祭(6日まで)
- 7日(月) 防災対策連絡会・防災隊班長会合同会議、草津セミナーハウス事務担当者会議(8日まで、於草津セミナーハウス)
- 8日(火) 入学者選抜方法研究委員会、理学部・家政学部推薦入学願書受付(14日まで)、庶務専門部会、国立大学厚生補導事務研修会(10日まで、於国立婦人教育会館)
- 9日(水) 将来構想検討委員会、教務委員会、大学院人間文化研究科会議、放射線使用者に対する血液検査、国立大学事務長研修会(11日まで、於国立オリンピック記念青少年スポーツセンター)
- 10日(木) 一般教育委員会、附属幼稚園検定受付、胃・肝臓機能検査(11日まで)
- 11日(金) 日本育英会学部1年(2次)奨学生選考会、附属幼稚園第1次検定(抽せん)
- 12日(土) 附属幼稚園第2次検定受付
- 13日(日) 大山寮防火訓練
- 14日(月) 情報処理センター運営委員会
- 15日(火) 部局長会議、昭和63年度後期分授業料免除選考会、日本赤十字社献血(16日まで、於保健管理センター前)、附属学校長候補者選考委員会、附属幼稚園第2次検定(18日まで)
- 16日(水) 各学部教授会、各研究科委員会、附属図書館長候補者選考、第83回国立大学協会総会(17日まで、於学士会館)、日本育英会奨学金返還説明会、小石川寮防火訓練、公務員試験懇談会(对学生)
- 17日(木) 第83回国立大学協会総会(於学士会館)、国立大学協会第1常置委員会(於学士会館)
- 18日(金) 学生委員会、学寮委員会、第50回国立大学協会事務連絡会議(於学士会館)、文京区内大学と区の担当者協議会(於文京区役所)
- 19日(土) 附属幼稚園合格者発表
- 21日(月) 第4回職員文化祭(25日まで)、第43回東京地区国公立大学入試担当課長会議(於東京学芸大学)
- 22日(火) 昭和63年度永年勤続者表彰式及び懇談会、日本育英会大学院予約奨学生選考会
- 24日(木) 臨時教授会(理学部・家政学部)、附属小学校募集要項配布(30日まで)
- 26日(土) 昭和63年度厚生補導関係教職員研究会(27日まで、於箱根静雲荘)
- 28日(月) 将来構想検討委員会
- 29日(火) 部局長会議、創立記念日
- 30日(水) 評議会、奨学金授与式、教務委員会、大学院人間文化研究科会議

- 12月1日(木) 一般定期健康診断(第2回)、附属小学校入学検定受付、附属中学校募集要項配布(27日まで)、附属高等学校募集要項配布(1月17日まで)
- 2日(金) 学寮委員会、学寮協議会
- 5日(月) 関東甲信越地区国立大学臨時学長会議(於如水会館)、理学部・家政学部推薦入学第2次選考(口述試験)、附属小学校第1次検定(抽せん)
- 6日(火) 部局長会議、大学入試センター試験試行テスト実施担当者会議(於大学入試センター)、附属小学校第2次検定(8日)まで
- 7日(水) 各学部教授会、各研究科委員会、学生生活実態調査(对学生)、第2回公務員試験懇談会(对学生)、附属学校長候補者選考委員会
- 8日(木) 理学部・家政学部推薦入学合格者発表
- 9日(金) 共用体育施設等運営委員会、附属小学校連絡入学検定、附属高等学校入学試験
- 10日(土) 附属小学校合格者発表
- 12日(月) 将来構想検討委員会
- 13日(火) 部局長会議、生活環境研究センター運営委員会、附属学校委員会
- 14日(水) 評議会、附属学校教育研究委員会
- 15日(木) 一般教育委員会